

立命館大学 第67回 不戦のつどい2020企画 in OIC (大阪いばらきキャンパス)

テーマ：「平和と民主主義」、そして学問の自由を考える

～日本学術会議はどのような役割を果たしているのか～

日時：12月14日(月) 16:30～18:30

会場：AC338 (要予約)

※基本的にzoomのオンライン企画とします

※会場参加は大学関係者のみ(先着30名)

申込先：wp-event@st.ritsumeai.ac.jp

(①名前、②所属、③連絡用メールアドレス、
④電話番号、⑤会場参加希望〔大学関係者のみ〕
のご連絡をお願いします)

(開催前日までにzoom案内メールを送信します)

話題提供者：

松宮孝明 (法務研究科教授)

兵藤友博 (経営学部名誉教授・

元日本学術会議会員)

司会：金森絵里 (経営学部教授)

主催：不戦のつどい実行委員会 (OIC)

共催：立命館大学国際平和ミュージアム・立命館生
協OIC学生委員会・立命館大学教職員組合

連絡先：立命館大学教職員組合 rits_union@yahoo.co.jp

■趣旨

▼菅新政権のもとで、日本学術会議が推薦した新会員候補6人が任命を拒否され、その中には立命館大学法学部の松宮孝明教授も含まれていました。かつてのアジア太平洋戦争時には、科学者や技術者が軍事動員されました。日本学術会議は、その反省のもとに戦争や軍事目的の科学研究を行わないことを宣言しています。

▼今回の日本学術会議任命拒否問題を契機として、日本政府は、日本学術会議の民営化や経費削減などの見直しを検討しています。いま注目を集めている日本学術会議は、どのような役割を果たし、一般市民・学生・研究者にどのようなかわりをもつのでしょうか。

▼今回の学習企画では、松宮先生には当事者の観点から、学問の自由と日本学術会議任命拒否問題について、兵藤先生には元日本学術会議会員の視点から、日本学術会議の役割と科学・学術研究のあり方について話題提供をお願いする予定です。

■不戦のつどいとは

▼不戦のつどいとは、かつて多くの学生を戦場に送り出してしまったという反省に立ち、大学は「二度と学生を戦地に送り出さない」、学生は「二度とペンを銃に持ち替えない」という反戦・平和の誓いを全ての学園構成員で確認することを目的として、毎年12月8日前後に「像前集会」を中心とした様々な企画を開催してきました。

▼彫刻家本郷新氏が制作した戦没学生記念像「わだつみ像」を受け入れ、その像の前で開催した第1回(1954年12月8日)から数えて今回が67回目の開催となります。